

# Newsletter

No.14 (2004.6.25 発行)

## JAICOWS 総会とシンポジウム開催される

3月16日、JAICOWSの役員会が午後1時から2時まで、総会が2時から3時まで、シンポジウム【少子化と女性】が3時から5時まで日本学術会議会議室で開催されました。特筆すべき点としては、事務局がこの3月をもって昭和女子大学女性文化研究所から専修

大学法学部に移ったこと、学術会議改革への要望書に関する臨時総会を7月10日に開催し、同時に講演会を行うこと、そこで会費の値上げが提案されることなどですが、順次その詳細と新事務局長のご挨拶を掲載します。

## JAICOWS 総会議事録

日 時：2004年3月16日(火) 午後2時から  
場 所：学術会議会議室  
議 事：

1. 2003年度事業報告
  - 1) ニュースレターの発行 11～13号
  - 2) シンポジウム3回と講演会を1回開催  
2003.5.17 ジェンダー問題と日本の学術  
(ジェンダー特委と共催)  
2003.12.13 アジアと女性研究者  
(原ひろ子講演会)  
2004.2.23 科学技術とジェンダー  
(1部 ジェンダー学研連、2部 21世紀  
の社会とジェンダー研連と共催)  
2004.3.16 少子化と女性  
(上記2つの研連と共催)
  - 3) 臨時総会1回、総会1回、役員会5回開催
  - 4) 現在会員数 138人
2. 2003年度会計中間報告 別紙のとおり
3. 2004年度事業計画
  - 1) シンポジウムを3回開催予定  
1部 ジェンダー学研連と共催  
2部 21世紀の社会とジェンダー研連と  
共催  
「法学・政治学の研究・教育とジェン  
ダー」 9月27日開催予定  
3月の総会時にJAICOWS主催予定
  - 2) 新しい体制の学術会議についての要望  
書作成
4. 役員改選  
会 長：原ひろ子 副会長：鈴木益子  
事務局長・会計：岩井宜子  
事務局：神長百合子  
(以上は03.12.13臨時総会で決定)  
広 報：直井道子(ニュースレター)

加藤万里子(ホームページ)

企 画：浅倉むつ子、加藤万里子、  
長野ひろ子(欠員1名)

監 事：馬場房子(欠員1名)

5. その他 ・会員勧誘、研連名簿の確認
6. 次回役員会開催予定
  - ・目的：臨時総会の準備のため。
  - ・日時は役員の間でアンケートをとって決める。6月14, 15, 21, 22のどれか。時間は18時より、場所は専修大学。
  - ・要望書の内容：法案が国会で通れば、学術会議の新体制が固まるので、会員や連携会員には、女性を増やすこと、あらゆる分野(医学や工学など)でも女性を任命すること、学術会議会員の流動化と新陳代謝をはかること、を盛り込む。
7. 次回ニュースレターの発行
  - ・臨時総会のお知らせとして、ニュースレターを発行する。
  - ・学術会議の法案が今国会に提出されている。学術会議改革の正念場である、と危機感を伝えること。
  - ・役員改選、決算報告など。
8. 臨時総会の開催
  - ・7月10日(土)午後、専修大学にて。
  - ・総会90分、その後講演30分と質疑
  - ・議題
    - 1) 会費の値上げ：年5千円を提案。  
寄付に頼る会計を正常化するため。
    - 2) 学術会議に出す要望書の決議
    - 3) 出席した新人に役員になってもらう。  
(欠員2名あり)
  - ・講演：理系も聞きやすいテーマにする。  
企画担当が考える。(以上)

## 2003 年度 JAICOWS 会計報告

### 1. 収入の部

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考
繰越金	178,185	178,185	0	
会費	565,200	460,000	△105,200	115 人分(86.4%)
利子	50	4	△46	
寄付	100,000	183,567	83,567	役員会、総会における寄付 ワールドプランニングにより寄付
その他	10,000	0	△10,000	
合計	853,435	821,756	△31,679	

### 2. 支出の部

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考
通信費	20,000	25,645	△5,645	総会はがき代, 宅配便代, 発送手数料, タックシール代など
Newsletter 印刷費	170,000	137,970	32,030	N0.11, 12, 13
Newsletter 発送費		45,540	△45,540	
行事費	80,000	28,000	52,000	講師謝金, アルバイト代
会議費	5,000	5,100	△100	飲食費
学会業務委託費	420,000	420,000	0	
予備費	158,435	1,470	156,965	残高証明書発行手数料, 振込手数料
合計	853,435	663,725	189,710	
次年度繰越金		158,031		

## JAICOWS シンポジウム「少子化と女性」報告

表記のシンポジウムが 2004 年 3 月 16 日 (火) 15 時より日本学術会議 5 階会議室で開催された。主催は JAICOWS、「21 世紀の社会とジェンダー研究連絡委員会」、「木材学研連」「天文学研連」である。原ひろ子会長の挨拶から始まって次のような講演が行われた。

1. 少子化の意味・人口学的観点から

国立社会保障・人口問題研究所  
佐藤龍三郎

2. 少子化対策 2 法について考える

東京都立大学 浅倉むつ子

3. 親になること&子育ての生物学

千葉大学 内田亮子

シンポジスト三者からは専門の立場から実に多様な少子化の背景が指摘されたので、その一端を紹介しておく。

佐藤氏は日本では男女関係より親子の関係が強く、婚外子が少なく晩婚化・非婚化が少子化を生むこと、浅倉氏は就労形態の多様化や競争の激化の影響、内田氏はヒトは母単独で子育てする(できる)生物ではないこと(これは、脳の成長パターンなどから)、などである。これに対して政府の少子化対策は「生むこと」ばかりが強調され、女性の生きかたを拘束しかねない懸念が表明された。そしてむしろシンポジストが提起された多様な要因群に対応する施策、たとえば若者のパートナーシップ形成への支援策、多様な労働形態のなかでの均等待遇、家族形態の多様化の容認、地域での子育てネットワークの構築支援などがより有効ではないか、という問題提起がなされた。

(文責 直井道子)

## 事務局を引き受けて 新事務局ご挨拶

JAICOWS 会長が島田淳子先生から原ひろ子先生にバトンタッチされたのを機に、事務局も昭和女子大の伊藤先生・中山先生が辞されるということで、専修大学には岩井・神長の2人がいるということで、お引き受けいたしました。今まで、なにもお手伝いしていなかったのに、なにも分からず、至らぬことが多いとは思いますが、よろしく願いいたします。専修大学の神田校舎は、地理的に便利で、役員会・総会・シンポジウムの会場はお取りできる

と思いますのでご利用ください。

「學術の動向」の編集委員長ほか、いろいろと仕事を引き受けていますので、あまり時間がとれません。お手伝いいただける方がいらっしゃれば、どうぞお力をお貸しください。

岩井 宜子

(専修大学法科大学院教授・刑事法学)

神長百合子

(専修大学法学部教授・法社会学)

### JAICOWS 臨時総会・講演会のお知らせ

下記の要領で JAICOWS 臨時総会と講演会を開催します。多数の皆様のお集まりをお待ちしています。

JAICOWS 会長 原ひろ子

日 時：2004年7月10日(火) 1時 総会  
2時 講演会

場 所：専修大学7号館会議731号室

総会議題：

1. 学術会議改革への要望書について
2. 会費値上げについて
3. 役員の新補充について
4. 2004年度予算
5. 役員交代と役割分担
6. その他

出欠の有無・委任状を同封のはがきで7月5日までにご返送ください。

#### 講演会

日 時 7月10日 2時～3時

場 所 専修大学神田校舎 7号館731号

演 題 「インフルエンザ」

講 師 河岡義裕

東京大学医科学研究所 感染・  
免疫部門ウイルス感染分野

### 学術会議改革の状況（臨時総会開催の背景への解説）

JAICOWS 会員の皆様

2004年秋には日本学術会議は新しい体制に入ることです。第19期副会長戒能通厚氏による解説をご許可を得て、ここに掲載させていただきます。

JAICOWS のあり方に関しても今年度は検討すべきでありましょう。皆様、ぜひ改革の重要性について、ご理解をお深めください。(JAICOWS 会長 原ひろ子)

これは第2部（法学・政治学系）会員の浅倉むつ子氏から提供されたものですが、当の法律については学術会議のホームページで見られるそうです。

すでにご存じと思いますが、日本学術会議法改正法が3月に衆参両院を通過して、このほど一部施行になっております。本当に長い長い時間が過ぎましたが、おかげさまで先輩会員ほか皆様が守り続けてこられたこの大切な機関を何とか維持できただけでなく、内部機構の在り方を学術会議自身が決めることができる自由度の高い制度設計が可能な法律となっております。来年4月からは行革の結果として「仮置き」にされていた総務省から内閣府に移管されます。

総合科学会議といわゆる「車の両輪」として、我が国の科学技術政策に異なる立場から関与し、目下レビューが進められている第2次科学技術基本計画の学術会議の立場からの検討や第3次基本計画への提案などの責務が生じるとともに、世界のアカデミーと強い連携関係を築き上げているこの機関が、「科学者コミュニティ」の代表機関として、科学者の立場からこの混迷を極める世界と日本の進むべき方向について提案権を確保できたことは、今回の改正の大きな成果と言えるかと存じます。一時は、廃止論、「独法化論」もあって受身の立場にあった学術会議がここまでこられたのは奇跡的？ではなかったかとの感慨を禁じ得ませんが、吉川前会長はじめ第18期以前の先輩会員や研連委員の皆様等の各位のおかげであり、心から御礼申し上げますとともに、来年9月30日までに任期を短縮された第19期会員の一人として悔いの残らない活動を続けていく所存です。

改正法に基づく新学術会議は、日本学術会議の黒川清現会長が、日本学士院 会長の長倉先生、総合科学技術会議議長（小泉首相）によって指名された有識者議員（このほど薬師寺泰蔵議員と決した旨の連絡がありました）と協議し任命する「日本学術会議会員候補者選考委員会」によって選ばれることにな

りますが、従来の研究連絡委員会委員と異なって会員と連携して会員の職務の一部を行うことになっている「連携会員」という「会員」が法律に明記されたことが注目されるべきでしょう。財政的な問題はありますが、これによって日本学術会議は、会員と研連委員といった上下の「二重構造」から脱して文字通り連携して活動を繰り広げることができる会員と連携会員という一元的・水平構造の会員システムを確立できる制度的な基盤を得たこととなります。問題はいうまでもなく、新会員の選出過程が透明性のあるものであって、なるほどと言われる選考結果を示すことができるかですが、法律上はそれは上記の「日本学術会議会員候補者選考委員会」の役割であって、第19期の会員はもとよりこの選考過程には関与できません（直接関与すれば「お手盛り」と批判されるでしょう）。しかし、科学者コミュニティの代表者として専門的知見において高い評価を得ている方々が選ばれ俯瞰的な視点から提言することができるような日本学術会議を創造するための努力はしなければならぬと考えております。そのためには今後とも学協会のご支援が不可欠ですが、学協会の側におかれましても、この新しい学術会議の方向に向けての協力の在り方について、議論を始めて頂きたいをお願いします。いずれにしましても、今後の日本学術会議と学協会の連携の在り方については早急な協議が必要になっていると思っております。

日本学術会議からはこの法律の審議過程を含めて今後の展開をできる限りホームページ <http://www.scj.go.jp> に掲載し学協会や科学者個人からのご意見も伺えるような「双方向的」展開を想定しており、目下ホームページも「改装中」ですが、学協会におかれましてもホームページのないところでは（大変だとは存じますが）どうか早急に整備方をご検討下さい。

---

### \* ニュース \* 科研費の申請資格拡大が実現へ

---

本務校をもたず非常勤の身分のまま研究を続けている（続けざるを得ない）研究者は、女性に多くみられる。日本学術会議も平成6年および12年の総会決議において、女性研究者の環境改善の一環として、科学研究費の配分の仕方をみなおす必要性を指摘している。2001年に開催されたJAICOWSと

5 研連の共催シンポジウム「科学研究費と女性研究者」では、この問題をとりあげた。事前に文科省への質問状を出し、また当日は文科省から参加したパネリストにフロアからの沢山の意見や要望が出された。その結果、新聞報道によれば（科学新聞2004年5月21日）、早ければ平成17年度公募から、科

研費の申請資格が拡大され、非常勤講師や技官、名誉教授も申請ができることになりそうである。この改善は、日本学術会議や JAICOWS のこれまでの働きかけによる成果と言えるだろう。(加藤万里子)

詳しくは <http://www.mainichi-msn.co.jp/kagaku/science/news/20040425k0000m040027000c.html>

## お知らせ

### シンポジウム「法学・政治学とジェンダー — ジェンダー法学・政治学の可能性 —」

主催：日本学術会議第2部 21世紀の社会とジェンダー研究連絡委員会  
共催：日本学術会議第1部 ジェンダー学研究連絡委員会  
JAICOWS (女性科学者の環境改善に関する懇談会)  
東北大学 21世紀 COE プログラム「男女共同参画社会の法と政策」—ジェンダー法・政策研究センター

日時：平成16年9月27日(月) 13時30分～17時

会場：日本学術会議 2階 大会議室

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34 Tel : 03-3403-5706

地下鉄千代田線「乃木坂」駅下車青山霊園方面出口左徒歩1分

趣旨：司法や政治分野のジェンダー・バイアス(性差についての固定観念や偏見)が問題となるなかで、新たなジェンダー法学・政治学という視点から、日本のジェンダー問題を検討することが求められています。本シンポジウムでは、日本の男女共同参画推進のためにジェンダー法学・政治学が果たすべき役割と課題を研究領域ごとに検討し、ジェンダー問題解決にとってのジェンダー法学・政治学の可能性について考えます。

#### 次第

開会挨拶：原ひろ子 (JAICOWS 会長、放送大学教授)

司会：岡本三夫 (学術会議第2部会員、広島修道大学教授)

江原由美子 (学術会議第1部会員、ジェンダー学研連委員長、東京都立大学教授)

パネル・ディスカッション

「憲法学とジェンダー」

辻村みよ子 (学術会議第2部会員、21世紀の社会とジェンダー研連幹事、東北大学教授)

「労働法とジェンダー」

浅倉むつ子 (学術会議第2部会員、21世紀の社会とジェンダー研連委員長、早稲田大学教授)

「刑事法とジェンダー」

岩井宜子 (学術会議第2部幹事、専修大学教授)

「家族法とジェンダー」

戒能民江 (学術会議 21世紀の社会とジェンダー研連幹事、お茶の水女子大学教授)

「身体・セクシュアリティとジェンダー」

若尾典子 (広島女子大学教授)

「国際政治とジェンダー」

土佐弘之 (神戸大学教授)

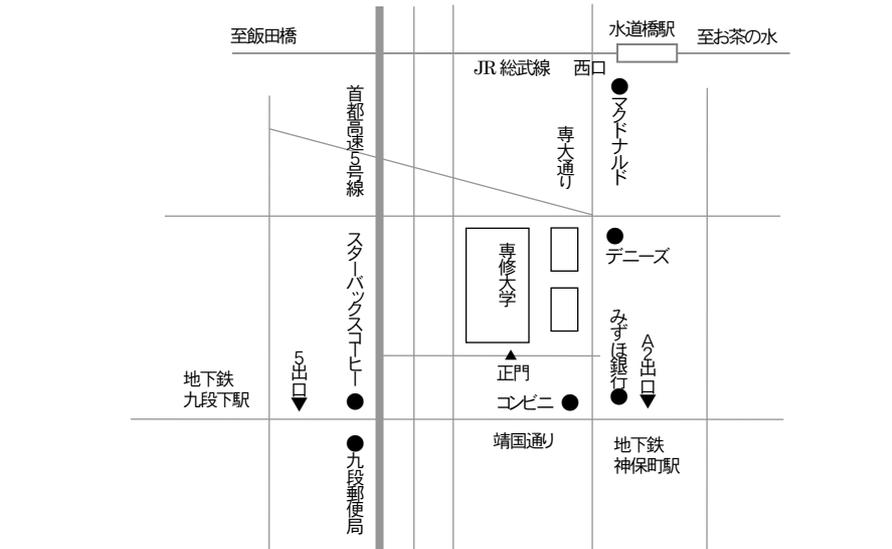
閉会挨拶 広渡清吾 (学術会議第2部部長、東京大学教授)

## 専修大学神田校舎へのアクセス

東京の中心・千代田区神保町に位置する、地上15階地下3階の都市型高層キャンパス、それが神田キャンパスです。地下1階には全国の大学でも数少ない「法廷教室」があります。また、近くには最高裁判所、検察庁などが位置し、法律を学ぶには理想の環境です。

### ● 周辺インフォメーション

東京ドーム、日本武道館、古本屋街、スポーツショップ街



- ・水道橋駅 (JR) 西口より徒歩7分
- ・九段下駅 (地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線) 出口5より徒歩3分
- ・神保町駅 (地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線) 出口A2より徒歩3分

連絡先：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会 (JAICOWS) 事務局  
〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8 専修大学法科大学院 岩井宜子  
Tel 03-3265-6917 Fax 03-3265-6962  
<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/jaicows/>

事務センター：〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-2 大橋ビル 株式会社ワールドプランニング  
Tel 03-3431-3715 Fax 03-3431-3325 E-mail world@med.email.ne.jp

郵便振替 口座番号 00100-8-542793